

息抜きの散歩道 Vol.17

編集・発行／日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日：2022年4月15日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

新学期が始まりました。LCセンターの電子資料も少し変わりました。
ということで、学内で利用できる電子資料をご紹介します。

学内限定利用



科学技術関連文献の検索ができます（本文は読めません）。

JapanKnowledge

さまざまな分野の事典・辞書・叢書を検索して、読むことができます。

理科年表プレミアム

環境、地学などのデータベース。データはExcelファイルもあり、ダウンロードして自由に利用できます。

他にも、化学や数学のデータベース、建築や情報系の電子ジャーナルもあります。

「資料を探す」から、電子資料を活用して学習に役立ててくださいね。

まずはここから！
LCセンターのホームページ
<https://library.nit.ac.jp/>



資料を探す

本・雑誌

データベース

電子ジャーナル

電子ブック

新聞



「朝日新聞」や雑誌のほか、用語集や人物データベースも検索できます。



「日本経済新聞」を読むことができるほか、企業情報なども検索できます。

就活向け



電子ブックを読むことができます。「マイナビ」の就活シリーズが多数あります。

※学外利用は事前登録が必要です。

学外でも利用できる

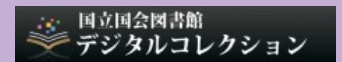


大学図書館が所蔵する図書や論文・研究データなどを検索できるサイトです。

学外で利用できる (条件付き)



学協会が発行している雑誌論文などを検索し、無料の論文は読むことができます。



国会図書館所蔵資料のうち、著作権切れの資料などをデジタル公開しています。
※LCセンターなど図書館限定で閲覧できる資料もあります。



図書館アプリもあります。

貸出ランキング

集計期間：2021年10月1日～2022年3月31日

1. 貸出5回

『なんでもPythonプログラミング：平林万能IT技術研究所の奇妙な実験』平林純 / 著 技術評論社 / 刊
『変な家』雨穴 / 著 飛鳥新社 / 刊

2. 貸出4回

『夜に駆ける：YOASOBI小説集』星野舞夜[ほか] / 著 双葉社 / 刊
『マルチメディアコンピューティング』尾内理紀夫 / 著 コロナ社 / 刊
『情報通信ネットワーク』滝根哲哉 / 編著 オーム社 / 刊
『建築積算：第5版』日本建築積算協会 / 編 日本建築積算協会 / 刊
『電験三種徹底解説テキスト理論：令和3年度試験版』電験三種教育研究会 / 編 実教出版 / 編

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、
どんな本を読んでいるのでしょうか？

250文字ブックレビュー

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

『ロマネスク美術革命』 金沢 百枝 /著 新潮社 /刊

702.04
Ka 48

配架場所：7階

ロマネスクは、一般にゴシックの過渡期にあたり、その美の表現は拙造で素朴であるとみなされる。著者は、ヨーロッパ各地のロマネスク教会堂を巡り、歴史・建築・美術を実地調査し、ゴシックやルネサンスとは異なる価値観を持つロマネスク美術の本質と意義を見出す。古代の美の規準に縛られない感覚的な表現を創造したロマネスクを見ることは、美の多様性へと眼をひらくことであるという。本書は啓蒙書のような体裁をとるが、西洋美術史を相対化して新地平を拓く学術書である。随所に教会建築への示唆に富む記述があり興味深い。豊富な図像や図像を眺めるだけでも楽しめる一冊だ。

黒津 高行（LCセンター）

『カミオカンデとニュートリノ』 鈴木 厚人 /監修 丸善出版 /刊

429.6
Ka 38

配架場所：4階

約35年前の高校物理の教科書には、ニュートリノの質量はゼロであると明記されていました。しかし、岐阜県飛騨市神岡町に建設されたカミオカンデ、スーパーカミオカンデにおける実験結果から、ニュートリノは質量をもつことが示されたのです。一連の研究業績により、2002年および2015年に日本人研究者がノーベル物理学賞を受賞しました。この書籍には、さらにハイパーカミオカンデの建設が計画されていることなどが記載されており、学生諸君にはこれら素粒子物理学の研究成果の工学的応用を実現して欲しいと願っています。

増本 憲泰（機械工学科）

『愛なき世界』 三浦 しをん /著 中央公論新社 /刊

913.6
Mi 67

配架場所：8階

今回紹介する本は、一風変わった恋愛小説です。舞台は、東京の某T大学の植物系研究室。その研究室に所属する女子学生と、近くの洋食屋で働く男子店員との間で繰り広げられる物語です。著者は、モデルとなった研究室を丹念に取材し、大学で行われている実験風景や日常も紹介しています。この分野が身近でない人にも理解できるように、色々と丁寧に説明しているので、難しい専門用語が出てきても分かりやすく工夫されています。日本植物学会の特別賞も受賞し、当学会の年会では特別対談もしていました。研究室の雰囲気味わえる一冊です。

芳賀 健（応用化学科）

『世界は「e」でできている オイラーが見出した神出鬼没の超越数』 金 重明 /著 講談社 /刊

081
Bb
2188

配架場所
2階b文庫・新書

超越数^{(*)1}は、円周率 $\pi = 3.14\dots$ がよく知られているが、本書は自然対数の底^{(*)2} $e = 2.718\dots$ について熱く語る。 e は高利貸の金利計算にも出現するほか、100連ガチャで全て外れる確率、クジ引きの席替えて席が変わらない不幸な人が出ない確率、最適な結婚相手を選ぶ確率が、全て $1/e$ （約37%）だという、面白い事実が紹介される。微分しても変わらない指数関数 e^x 、複素指数関数への拡張などを経て、 e は、三角関数や双曲線関数と、愛の絆で結ばれているという。数学界の5人の戦士 e 、 π 、 i 、0、1は、大数学者オイラーのシンプルな公式に全員が登場する。ダイナミックな展開で、巻末では複雑系の科学にも話が及ぶ。

(*)1超越数とは、無理数のうち、代数方程式^{(*)3}の解ではないもの

(*)2自然対数の底 e は、『ネイピア数』とも呼ばれる

(*)3代数方程式とは、係数が整数の有限項の多項式から成る方程式

生駒 哲一（電気電子通信工学科）

『一六世紀文化革命』 山本 義隆 /著 みすず書房 /刊

402.3
Y 31
1

配架場所：4階

この本の標題を見て本学との関係を疑われた方も多いだろう。しかし、筆者によればそれまで純粋な知的作業とみなされていなかった工学的学科を見直し、手仕事と機械的なものにたいするポジティブな価値評価への転換を行ったのがヨーロッパにおける16世紀だったと評している。この16世紀の文化革命こそが理論的研究と実験的研究の結合を促し、ガリレオやニュートンに代表される17世紀の科学革命を引き起こす原動力となった。本学が提唱する「実工学」の源流が書かれた一冊であり、物理学者が捉えた「知の下克上」の克明な記録でもある。

中里 裕一（ロボティクス学科）

『東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Pythonで手を動かして学ぶデータ分析』

塚本邦尊 [ほか] /著 マイナビ出版 /刊

007.6
Ts 54

配架場所：3階

本書は、私の研究室（人工知能研究室）でPython言語及び機械学習の入門教科書として、毎週1回、プレ配属で来られた3年生対象の研究室ゼミに活用させていただいております。一番の推しは、インターネットがあれば、各自のPython環境（Jupyter Notebook、Google Colaboratory）を構築することができ、この本のコンテンツもそのままダウンロードして、学ぶことができます。また、確率と統計の基礎、機械学習の基礎（教師あり学習、教師なし学習）を紹介しており、データサイエンス・人工知能(AI)の入門書として相応しい内容となっています。但し、強化学習や深層学習の内容はなく、AI分野の最先端を勉強することはできません。

呉本 亮（情報メディア工学科）

『怒らないこと』 アルボムツレ・スマナサーラ /著 大和書房 /刊

184
Su 56

配架場所：3階

最近、知人に薦められた本です。作者は日本テーラワーダ仏教協会では長老を務められている方だそうです。「怒り」が本人にとっていかに害があるか、そしてその怒りをどのようにして発しないようにするかが書かれた本です。内容を一部紹介してみたいと思います。“私は間違いだらけ”だとわかると怒らない”、“怒ると自分を壊してしまう”などです。この本の主張を無理やり広く解釈すると、「本の内容は間違いだらけ」かもしれませんので、盲信せず、「このような考え方もあるのだな」、という心構えで読むことをお勧めします。

田中 実（建築学コース）

『ジャングル』 アプトン・シンクレア /著 松柏社 /刊

933.68
Si 8

配架場所：8階

シカゴの劣悪な労働環境下の缶詰工場で働くリトアニア移民を主人公とする物語で、十九世紀中盤以降、食品販売・製造業において常習化していた、混ぜものをする食品加工問題を告発した書として有名である。食肉業界だけでなく、政界や社会がいかに嘘や虚飾、詐欺やごまかし、腐敗や裏取引に満ちているかを綿密な取材に基づいて活写している。主人公が次々と職業と居住地を変えるため、ある種の「放浪文学」として読むこともでき、ページをめくるたびにどこに連れていかれるかわからない、先が読めない展開に読者は夢中になるはずである。

南谷 奉良（共通教育学群）

1階の利用方法が変わりました。

学生の皆さんが授業や学習にノートパソコンを活用するようになったことから、3/19にLCセンターのパソコン利用を終了しました。

3/25からは、学習用にコンセントを備えたデスクとして、ご利用ください。ほかに、ノートパソコンのサブモニタを9台設置し、HDMIケーブルをご用意しました。

ノートPCで作成したデータを印刷する場合は、USBメモリをご用意ください。



サブモニタ利用席

「新型コロナウイルス」感染防止にご協力をお願いします。

- ・館内ではマスクの着用、手指の消毒をしましょう。
- ・手に取った本は、書架に戻さず「返本台」に置きましょう。
- ・ソーシャルディスタンスを保ちましょう。
- ・ブックラウンジでは、1テーブルにつき、1人で利用しましょう。



ご協力をお願い致します。



ブックラウンジ



手指の消毒

ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いして下さる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生 (学科・学年不問) 無償ボランティアでの活動となります。

活動期間: 年度単位。月1回程度のミーティング。
イベントや作業中はその都度集まります。

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



選書ツアー



イベント企画・運営

『青塔』春号を発行しました。

春号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に退任の先生方にご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。
ご自由にお持ちください。
リポジトリでも公開中です。

LCセンター2階特集展示

4/12 (火) ~ 5/12 (木) 「春からはじめる新生活」
新しいスタートを切る新入生や在校生を応援する図書を展示します。

5/17 (火) ~ 6/11 (土) 「先生と先輩のすすめる本」
250文字ブックレビューの紹介図書を展示します。

開館カレンダー (変更になる場合があります。)

2022年 4月 April							5月 May							6月 June							7月 July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
																					31						

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	9:00-20:00
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	------------